

# 新たな時代の国家プロジェクトの成功に向けて

国際博覧会担当大臣

若宮健嗣

わかみや けんじ



2025年大阪・関西万博は、東京オリンピック・パラリンピックに続く国家的プロジェクトです。2025年の開催まで、3年となりました。各国への参加招請活動、会場および周辺インフラの整備、万博開催に向けた全国的な機運の醸成、そして大阪・関西万博のコンセプトである「未来社会の実験場」の具体化など、万博の開催に向けて、オールジャパンで取り組みを進めています。

大阪・関西万博のテーマは、「いのち輝く未来社会のデザイン」です。現在、世界中の国や人々が、新型コロナウイルス感染症に苦

しめられています。新型コロナウイルス感染症を乗り越えた先の新たな時代に向けて、

新しい時代の生き方や住まい方、それに関わる新しい生活インフラや様々な技術やサービスを構想、提案、発信し、そして生み出していく場にしていきたいと思っています。それはまさに、科学技術や文化・芸術をはじめとする日本の強みや魅力を世界にアピールし、日本全体の成長につなげる絶好の機会となります。大阪・関西万博を、半年間の一過性のイベントとして捉えるのではなく、未来への通過点、

或いは、我が国の将来の産業やビジネスの種をまく出発点として捉えていくことが重要で

あると考えています。

このための仕掛けが、「未来社会の実験場」というコンセプトです。大阪・関西万博の会場という期間限定の「特別な街」を活用し、我々の生活様式や価値観を一変させるような新しい技術やサービスを実証・実装する挑戦の場、即ち実験場として、様々な課題解決の姿、そして未来社会の姿を、ショーケースとして示してまいります。

「未来社会の実験場」の具体化に向けて政府一丸となって取り組むべく、2021年12月

には「2025年大阪・関西万博アクションプランVer.1」を策定いたしました。アクションプランに基づき、予算措置、規制改革、新たな制度設計など、必要となる措置を政府一丸となって推進してまいります。

アクションプランでは、構成を①モビリティ、②エネルギー・環境、③デジタル、④健康・医療、⑤観光・食・文化、⑥科学技術等の6つの分野に整理しています。例えば、モビリティ分野では、最先端のモビリティ技術を会場の内外で実証・導入することで、スマートモビリティを推進し、空飛ぶクルマ等の来場者への新たな移動体験を提供し、また、会場内で自動配送ロボットを実装すること等を通じて、モノの配送も含めて、ロボットが社会に実装された姿を示していきます。デジタル分野では多言語同時通訳、Beyond5G等の最新のデジタル技術を活用した様々な展示や催事を行うことで未来社会のビジョンを提示していきます。

これらは、2021年12月時点での取り組みや検討状況についてとりまとめたものですが、最新の技術やサービス、そしてイノベーションの動向なども踏まえ、今後、少なくとも半年に1回程度の頻度で改定し、さらに充実させていきたいと考えています。

1970年大阪万博は、今でも多くの日本人の心の中に深く刻み込まれています。私自身、小学校3年生の時に大阪万博を訪れましたが、初めて見るものばかりでとても驚きました。特に強く印象に残ったものが4つあります。携帯電話、リニアモーターカー、電気自動車、ロボットです。その4つは、現在の社会で全て現実のものになっています。ロボットは産業や介護など様々な現場で役立っています。携帯電話は既に普及し、電気自動車も広がりつつあります。リニアモーターカーも計画が進んでいます。

しかしながら、例えば、携帯電話を挙げれば、残念ながら、現在日本製の携帯電話が世界中のマーケットを席巻するという状況にはなっていないません。前回の大阪万博で新しい技術やコンセプトを発信した日本勢は、その後、固定観念にとらわれない新しい発想を持った海外勢の後塵を拝することとなりました。

私はこのような状況を、大阪・関西万博を機に、打ち破っていくべきだと考えています。例えば空飛ぶクルマであれば、飛行そのものの質だけでなく、安全性と利便性のバランスを取りながら、空飛ぶクルマでどのような価値を生み、どのように次の新しい生活スタイルを提案していくのか。空飛ぶクルマが飛んで当たり前の社会、そのための様々なルー

ルや生活様式、それに付帯する様々な技術やサービスをグローバルスタンダードとして提示していくことが重要であると考えています。また、技術だけでなく、日本の文化や魅力をもストーリーとして発信し、ビジネスにつなげていくことも非常に重要であると考えています。例えば食・食文化であれば、その食にまつわる様々な歴史、気候・風土などの地域性、多様性、原材料や食に関わる器具や器、工芸品、食を中心とした観光や飲食サービスなど、食・食文化に関わる様々な製品・サービスを魅力的なストーリーとして世界に発信していくことができれば、付加価値を向上させ、裾野を広く捉えつつ、国内外向けに新たなビジネスを作り上げていくこともできるものと確信しています。

万博は、アイデアをビジネスとして世界中に展開する絶好の機会です。50年後に「新しい産業の種は大阪・関西万博から始まった」[大阪・関西万博が日本の競争力を取り戻すきっかけになった]と語り継がれるような万博とすべく、オールジャパンで取り組んでいきたいと思えます。ぜひ、経済界・企業の皆様にも幅広くご参画いただきしたいと思います。最後になりますが、大阪・関西万博の成功と皆様のますますの繁栄を祈念し、結びとさせていただきます。